



# 町長の行政報告を お知らせします

八峰町12月議会定例会が13日から15日までの会期で開かれ、町長の行政報告や一般質問、補正予算の議案審議などが行われました。町長の行政報告の中から主なものをお知らせします。

## 平成30年度当初予算 ふるさと秋田元氣創造プランを積極的に

平成30年度当初予算編成にあたっては、普通交付税の段階的縮減が既に始まっていることから、新規事業は極力抑制するとともに、効果の薄れた事務事業の廃止・縮小に集中的に努めることや、28年度に策定した「公共施設等総合管理計画」で示された方針に基づき、遊休施設の除却を計画的に進め、維持管理費の縮減を図っていくこととされています。

一方、「第二次八峰町総合振興計画」は進捗度を図りながら、同構想・計画に基づいた事業を着実に実行することで、町の将来像「白神の自然と人とで創るやすらぎのまち」実現のための通年予算を編成することとしています。

なかでも、国の「地方創生関連事業」や県が新たに策定する「第三期ふるさと秋田元氣創造プラン」に基づく新規補助事業は積極的に活用し、町が策定した「まち・ひと・しごと創生総合戦略」に基づく産業振興や移住・定住対策、少子化対策に向けた取り組みを積極的に推進することとしています。

## ねりんピック秋田2017開催 八峰町では軟式野球交流大会

9月9日から12日までの4日間「ねりんピック秋田2017」軟式野球交流大会が八峰町峰浜野球場を会場に、

全国から6チーム、90名の選手の参加により熱戦が繰り広げられました。10日には秋田市チームを除く5チームの参加による歓迎レセプションも開催され、我が町自慢の地魚や地元食材を使用した料理や地酒で交流を深めました。

また、各チームによるエール交換なども行われ、交流大会にふさわしいレセプションとなりました。最終日は残念ながら雨のため試合は行われませんでした。だが、けが人もなく無事終了しています。開催にあたり、ご協力いただきました八峰町野球連盟をはじめ八峰町商工会や八峰町観光協会の皆様に深く感謝申し上げます。



## ハタハタ漁獲枠は昨年より減少 わずかな水揚げに留まる

ハタハタ資源は、平成25年以降減少

階での生産の目安から町全体の生産量の目安を算定することを基本とする」等々です。

今後、目安の算定作業を進め、来年1月中旬には再生協議会を開催し、生産の目安を決定していただき、農家へ提示する予定です。

## 峰浜地区統合子ども園 「幼保連携型認定子ども園」への移行提言

峰浜地区統合子ども園については、今年度6月定例議会において、ご報告したとおり、昨年度末「峰浜地区子ども園」のあり方に関する検討会」からの「統合すべき、更に園舎は新築すべき」との答申を基に、統合の時期、建設場所として認定子ども園への移行などを早急に検討することとして7月25日に協議会をはじめ保護者、地域の代表者に加え有識者等による「峰浜地区統合子ども園建設等検討委員会」を設置し、統合子ども園の建設候補地、建設時期そして子ども園の運営について、検討していただきました。

その結果、建設候補地は環境整備が整い、園児の安全性が確保できることや、沢目、埴川両子ども園の中間位置を考慮し峰峯館周辺とすること、建設時期については、できるだけ早い時期に、そして運営については八森子ども園と同様に、幼稚園と保育所の長所を併せ持つ「幼保連携型認定子ども園」へ移行することの内容で、10月18日に

傾向が顕著となり、今季の秋田県の漁獲対象資源量は昨年より100トン少ない1千800トン程度と、ここ2年間100トンずつ減少しており大変厳しい状態となっています。

この状況を受け、県や漁業関係者で構成する「ハタハタ資源対策協議会」では、今季の漁獲枠を昨年比10%減の720トンとし、そのうち430トンが沿岸の季節ハタハタ漁の漁獲枠としています。

北部総括支所管内の漁獲枠配分は、昨年を7・1トン下回る95・6トンと厳しい漁獲制限となっています。

今季の季節ハタハタ漁の網入れは、時化の影響で11月27日正午を待って次々と、刺し網・定置網が投入されました。

初漁は昨年よりも4日遅い12月4日でしたが、八森漁港でわずか1・1キロの水揚げに終わり、時化が続いた影響もあり2回目の水揚げであったのが7日で、八森・岩館漁港合わせて、わずか19・2キロに留まっており、それ以降の水揚げは確認されていません。

## 住宅リフォーム支援事業 制度見直しにより事業効果明らか

今年度は需要の掘り起こしを目的に補助金交付要綱を見直し、補助対象工事費の下限額をこれまでの50万円から30万円に引き下げ、さらに下水道新規加入者への支援も加えました。その結

提言されました。

教育委員会としましても、沢目、埴川両子ども園とも建設から30年以上経過しており、老朽化と少子化が顕著であること、さらには、社会情勢の大きな変化やニーズの多様化が見られることを踏まえ、建設地、建設時期等について検討し、計画して参りますので、ご理解とご協力をいただきますよう、よろしくお願いいたします。

## 移動図書館車「とじょカーン」 利用者は1日平均8人

昨年より運行を開始した移動図書館車の運行状況についてです。

「とじょカーン」は、2週間に1回の割合で各集落や要望のあった事業所等をまわっています。昨年10月からの1年間の貸し出し実績は、延べ7千318冊、延べ利用者数は1千977人で、1日当たり貸し出し冊数は約30冊、利用者数は約8人となっています。今後、交通手段等で図書室利用が困難な方を中心に、積極的な利用を呼びかけていきます。

なお、「とじょカーン」の運行をはじめ、図書室の各種イベント、読み聞かせの会「かもめ」の読書PR活動等もあって、図書利用の実績は今年も順調に伸びているところです。

## 12月議会定例会に 提出した主な議案

- △八峰町一般職の職員の給与に関する条例の一部を改正する条例制定について
- △八峰町特別職の職員で常勤のもの給与及び旅費に関する条例の一部を改正する条例制定について
- △八峰町教育長の給与、勤務時間その他の勤務条件に関する条例の一部を改正する条例制定について
- △八峰町議会の議員の議員報酬及び費用弁償等に関する条例の一部を改正する条例制定について
- △八峰町農業委員会の委員及び農地利用最適化推進委員の定数に関する条例制定について
- △八峰町菌床しいたけホタテ産・栽培研修施設条例制定について
- △八峰町過疎地域自立促進計画の一部変更について
- △平成29年度八峰町一般会計補正予算  
1億241万4千円を増額するもの  
主な追加補正分  
生活バス路線及びマイタウンバス維持費補助金、秋田のしいたけ販売三冠王獲得事業補助金、夏井沢川河川災害復旧工事費、人件費  
△各特別会計補正予算

## 平成30年度産米 今後生産の目安を決定

いよいよ来年度から、国の農政改革により「行政による生産数量目標の配分に頼らない生産体制」に移行することになったところです。これに伴い県では「需要に応じた米生産の実施に向けた取り組み」として、県段階の「生産の目安」を提示することとし、12月1日、秋田県農業再生協議会臨時総会を開催し、県全体の生産の目安を「40万8千700トン」とすることを決定し公表したところです。

これに先立ち、八峰町農業再生協議会では、去る11月13日に臨時総会を開催し、県の生産の目安に対応した取り組み方針を決定したところです。取り組み方針の主なものは、「生産の目安は協議会が算定する」「再生協議会長名で生産者へ提示する」「算定方法は、県段